

「サンクス交流会」 地域住民と“かまぶく”づくり

実施期日 平成 27 年 11 月 14 日

平成 27 年 11 月 15 日付 北鹿新聞掲載

地域とかまぶく作り

大館高校生活学科

閉校前に感謝込め

大館高校（今泉校長）が「つくる」と企画した。14日、「サンクス交流会」と題したイベントを狐台コミュニティセンターで開き、生活科学科2年生約40人が近隣住民らと一緒に郷土菓子・かまぶく作りなどに取り組んだ。同校は統合のため年度末に閉校する。地域にこれまでの感謝を伝えようとして取り組む「サンクスプロジェクト」の一環。生徒会と家庭クラブが「一緒にかまぶくと」思い出を

「つくる」と企画した。

たつみ町、南が丘などから

近隣住民ら約80人が来場。開

会行事で生徒を代表して渡部

莉奈さんが「閉校から24年間

地域を支えられてきた。今ま

での恩返しのため、みんな

楽しみましょう」などあい

さつした。

エタメメ入りのかまぶく作

りに挑戦。生徒が工程などを

伝え、協力して取り組んだ。

部活動や学校の様子を紹介す

るなど何気ない会話を楽しむ人も多かった。

サツマイモのつるを使った

リース作り体験、生徒作のド

レスやパッチワーク作品展

示。たつみ町寿会女性部の作

品も置かれたほか、地元小学

生の太鼓演奏などもあり、約

2時間、会場にはたくさんの方々が笑顔が広がっていた。



生徒と一緒にかまぶく作りを楽しむ参加者たち（狐台コミュニティセンター）